

“石田組長”を中心に、第一線で活躍するオーケストラメンバー“組員”が佐賀に初招集!

ヴァイオリン
石田泰尚
©Hikaru.☆



ヴァイオリン
佐久間聡一

ヴァイオリン
塩田 脩

ヴァイオリン
田村昭博

ヴァイオリン
鈴木浩司

ヴァイオリン
大宮臨太郎

ヴィオラ
生野正樹

ヴィオラ
鈴木大樹

ヴィオラ
諫山翔一

チェロ
北口大輔

チェロ
森山涼介
Cayane shindo

チェロ
大宮理人

コントラバス
米長幸一

石田組

双雲
書・武田双雲

石田組2023/2024 アルバム発売記念ツアー

シベリウス
アンダンテ・フェスティーフォ
ホルスト
セントポール組曲
ラター
弦楽のための組曲
バルトーク(ウィルナー編曲)
ルーマニア民俗舞曲

ロータ、コッポラ(松岡あさひ編曲)
ゴッドファーザーメドレー
レッドツェッペリン(松岡あさひ編曲)
天国への階段
オアシス(松岡あさひ編曲)
ホワットエバー
クイーン(松岡あさひ編曲)
ボーン・トゥ・ラブ・ユー

※曲目は予定です。予告なく変更する場合がございます。

7.9 日

開場13:15 開演14:00

佐賀市文化会館 大ホール

※未就学児童の入場はご遠慮ください。
(託児サービスはございません。)

チケット 全席指定 S席 6,000円
A席 5,000円

※高校生以下 各席より半額 ※消費税込

プレイガイド 佐賀市文化会館、佐賀新聞社、佐賀玉屋
ローソクチケット ローソクチケット
<https://l-tike.com/> (Lコード:83193)
チケットぴあ セブンイレブン各店
<https://t.pia.jp/> (Pコード:235-007)
セブンチケット <http://7ticket.jp>

■主催/公益財団法人佐賀市文化振興財団、佐賀新聞社
◎お問合せ/佐賀市文化会館 TEL 0952-32-3000
佐賀市文化会館ホームページ <https://shinpool.jp>

新型コロナウイルス感染拡大防止について【皆様のご協力をお願いします】

感動文化都市・佐賀



©Hikaru.☆

石田泰尚 (いしだ やすなお) ヴァイオリン

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川県フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から20年以上参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「らら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。最新アルバムは2021年12月リリースされた「PIAZZOLLA LIVE」。2022年6月に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。



佐久間聡一 (さくま そういち) ヴァイオリン

山形県出身。幼少よりヴァイオリンを始め、桐朋学園卒業、その後ドイツでも学んだ。高校時代より、日本青少年オーケストラコンサートマスター、大学時は桐朋学園オーケストラコンサートマスターとして活躍。その後、新日本フィル契約団員、大阪フィル首席奏者、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・プレーメン客演奏者、広島交響楽団第1コンサートマスターをつとめた。現在は、ソリスト、室内楽奏者として多彩な活動で活躍の幅を広げている。魅力的な音色で聴衆をつかむ力がある(音楽の友)など誌上でも注目を浴びている。録音多数。「昴21弦楽四重奏団」「弦楽トリオAXIS」「ピアノトリオMIYABI」「石田組」メンバー。



大宮臨太郎 (おおみや りんたろう) ヴァイオリン

1981年生まれ。横浜市出身。辰巳明子・堀正文両氏に師事。2000年第69回日本音楽コンクール3位。同年ミレニウム・ニュークラシックオーディション1位、併せて審査員特別賞を受賞。2001年仙台国際コンクール5位、聴衆者賞受賞。2002年メニューイン国際ヴァイオリンコンクール(フランス)2位、2003年ブラハの春国際コンクールファイナリストほか国内外のコンクールにて受賞多数。桐朋学園大学4年生在学中にN響オーディションに合格。2005年毎日新聞社主催毎日ソリストにてリサイタル(ピアノ清水和音 於王子ホール)、ウィーンフィルトウオーズとモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」を共演。2008年12月より一年間アフィニス文化財団の奨学金を得てドイツフライブルグに留学。これまでに小澤征爾音楽塾、サイトウキネン・フェスティバルの他、「紀尾井シンフォニーエッタ」「響」「PACE」「ヴィルトゥオーゾカルテット」「クインテット・スベランツァ」などの室内楽メンバーとしても活躍。現在、NHK交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。



田村昭博 (たむら あきひろ) ヴァイオリン

4歳よりヴァイオリンを始める。第45回山口県学生音楽コンクール弦楽器部門第2位(1位なし)。2003年、国立音楽大学ヴァイオリン専攻を卒業。草津国際アカデミーなど数々の音楽祭に参加。2004年に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。現在、同団第一ヴァイオリン奏者を務める傍ら埼玉県立川越女子高等学校や浦和ユースオーケストラ等にてトレーナーを務める。これまでにヴァイオリンを故石井洋之助、石井志都子、野波健彦、荒井雅至、石井啓一郎、扇谷泰明の各氏に師事。



鈴木大樹 (すずむら たいき) ヴィオラ

3歳よりヴァイオリンを始め18歳でヴィオラに転向。第3回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門1位。山手の丘音楽コンクール1位、横浜ライオンズクラブ賞、Fグループ賞を併せて受賞。第9回東京音楽コンクール3位等、数々のコンクールに入賞している。宮崎国際音楽祭、おんぶの祭典、東京春音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ等の音楽祭に出演。現在パシフィックフィルハーモニア東京特別首席奏者。ヴァイオリンを脇野真樹、宮下要、大川内弘の各氏に師事。ヴィオラと室内楽を岡田伸夫氏に師事。



北口大輔 (きたぐち だいすけ) チェロ

東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。ソリストとしてオーケストラとの多数の協演や幅広いレパートリーでのリサイタル、また室内楽奏者として、いずれも高い評価を得ている。アジア推薦新人賞、平成12年度大阪府舞台芸術奨励新人賞、平成31年度大阪文化祭賞奨励賞、令和2年度兵庫県芸術奨励賞など多数受賞。東京都交響楽団チェロ奏者、九州交響楽団首席奏者、同楽団首席客演奏者を歴任。現在、日本センチュリー交響楽団首席奏者、パシフィックフィルハーモニア東京客演ソロ首席奏者、大阪音楽大学特任准教授。



大宮理人 (おおみや りよと) チェロ

平成1年11月1日生まれ。横浜市出身。7歳よりチェロに親しむ。桐朋女子高等学校を卒業後、桐朋学園大学、同大学カレッジディプロマコースを経て公益財団法人 東京交響楽団に入団(2014-2019年)。サイトウキネン・フェスティバル、室内楽講座、青少年の為のオペラ、小澤征爾音楽塾中国公演などに参加。高嶋ちさ子 with Super Cellistsメンバー。現在はフリーランスとしてスタジオでのレコーディング・ライブサポートや、日本の主要オーケストラへの客演、自身のチェロカルテットでの演奏活動もしている。これまでチェロを石橋かほる、毛利伯郎の各氏に、室内楽を毛利伯郎、諸田由里子、東京カルテットの各氏に師事。



塩田脩 (しおだ しゅう) ヴァイオリン

アメリカ合衆国ボストン生まれ。ジュリアード音楽院プレカレッジを経てニューイングランド音楽院卒業。2010年に来日し、京都市交響楽団ゲスト首席、兵庫県芸術文化センター管弦楽団ゲストコンサートマスター、小澤征爾音楽塾コンサートマスター、水戸室内管弦楽団などを経て。2014年東京都交響楽団に入団。第1ヴァイオリン奏者をつとめる。石田組、トリオン晴れた海のオーケストラ、サイトウキネン・オーケストラメンバー。これまでに潮田益子、田中直子、シャリー・ギブンスの各氏に師事。



鈴木浩司 (すずき こうじ) ヴァイオリン

1985年福岡県北九州市出身。2008年愛知県立芸術大学を卒業。同年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団に入団。2012年から2016年まで同楽団のフォアシニプレーヤーを務める。2017年より東京交響楽団第2ヴァイオリン奏者。2011年チョン・ミョンフン指揮によるアジアフィルハーモニー管弦楽団の韓国、日本、中国公演に参加。これまでに、篠崎美樹、篠崎永育、故山本由香子、大谷康子、服部芳子、Ewald Danelの各氏に師事。



生野正樹 (しょうの まさき) ヴィオラ

大分県出身。14歳よりヴィオラを始め、洗足学園音楽大学器楽科を首席で卒業、同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格し、九州交響楽団と共演。ソロアルバム「四枚組BOXCD『ノスタルジック・メロディーズ』」をWarner Music Japanより発売。これまでに日本フィル、東京シティフィル、神奈川県フィル、広島交響楽団など全国の主要オーケストラに客演首席として参加。2019年天皇陛下即位祝賀式典のオーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ、レコーディングなどで活躍中。昴21弦楽四重奏団、トリオAXISメンバー。



諫山翔一 (いさやま しょういち) ヴィオラ

福岡県出身。洗足学園音楽大学器楽専攻弦楽器を首席で卒業。2008年同大学院を修了。大学卒業時に優秀賞を受賞し卒業演奏会、同大学主催のデビューコンサートに出演。ヴィオラ、室内楽を岡田伸夫氏に師事。現在、オーケストラや室内楽などの様々な演奏活動を行なっている。



森山涼介 (もりやま りょうすけ) チェロ

愛知県豊田市に生まれる。東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。在学中、藝大フィルハーモニアと共演。大学卒業時には、同声会賞を受賞し、記念演奏会に出演。第8回ピバホールチェロコンクール特別賞(井上賞)、原村室内楽セミナーにて「緑の風奨励賞」、「ハイデン賞」を受賞。豊田市文化振興財団 文化新人賞受賞。故 久保田順、林良一、林俊昭、北本秀樹、山崎伸子の各氏に師事。2016年10月より一年間、アフィニス文化財団海外研修員としてドイツ ミュンヘンへ留学し、バイエルン国立歌劇場管弦楽団ソロ・チェロ奏者イヴ・サヴァリ氏のもと研鑽を積む。現在、東京都交響楽団チェロ奏者。チェロアンサンブルQuartet Exploceメンバー。



米長幸一 (よねなが こういち) コントラバス

10歳よりコントラバスを始め、堤俊作氏に師事。桐朋学園大学卒、研究科修了。在学中に池松宏、ゲーリー・カー、ライナー・ツェベリッツの各氏に指導を受ける。2000年日本演奏家協会コンクール弦楽器の部第1位。2001年より神奈川県フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者を務める。

オフィシャルパートナーとして、佐賀市文化振興財団の文化事業への協賛を通し地域文化の振興をサポートしています。